

早坂二郎 はさき じろう 翻譯家。明治二十年九月二十日宮城縣生れ、昭和十九年歿（一九七〇年九月）。筆名五城朗、霧島讓一。東京帝國大學で新入會所屬。『國民新聞』、『東京毎夕新聞』記者。大正十五年安部磯雄、宮田崎龍介等と獨り労働協會を組織し、機關誌の編輯に従事。戰時中、反戰の言動を憲兵に摘發せられ、病氣療養中も市ヶ谷刑務所に拘禁、獄死した。

著書に『經濟の話』（大正十二年一月）『日本評論社出版部』、『吾等何ぞ學ぶべき乎』（『運命の英雄ナポレオン』（昭和十一年八月）『日新潮社』、『新傳記叢書』）等。譯書に『敘傳マクドナルド』（大正十二年六月）『日未來社』、『ユーゴー作』、『九十二年』（昭和十二年二月）『日改造社』、『世界大衆文藝全集』）、『アプトン・シンクレイヤ著』、『眞鍮の眞操切符』、『ブラス・チェック』（昭和四年十二月六日新潮社）、同著『現代人の生活戰術』（昭和五年二月十日日新潮社）、エミール・ルードウイツビ著『一九一四年七月』（昭和五年九月二十日先進社）、ジヨン・グイダー著『露西亞をスバイする』（昭和六年二月二十五日新潮社）、ジヨン・ド・パソス著『北緯42度』（昭和六年六月十日日新潮社）、アンドレ・ジグフリード『英國の危機』（昭和六年六月）『日先進社』）、C・ビアード著『アメリカの外交政策』（昭和十六年十一月十日日圖書書房）『國會選書』）等。

